

つ つなげよう未来へ！
し 市民協働による
ま まちづくり



令和2年度

組織目標の成果

～ 「協働型市政の確立」を目指して～



長崎県対馬市

… アジアに発信する歴史海道都市 対馬 …

～ 目 次 ～

I	組織目標の評価一覧	・・・・・・・・	1
II	組織目標の成果（個票）	・・・・・・・・	4
1	総務部	・・・・・・・・	4
2	しまづくり推進部	・・・・・・・・	8
3	観光交流商工部	・・・・・・・・	15
4	市民生活部	・・・・・・・・	21
5	福祉保険部	・・・・・・・・	24
6	健康づくり推進部	・・・・・・・・	27
7	農林水産部	・・・・・・・・	30
8	建設部	・・・・・・・・	37
9	水道局（部）	・・・・・・・・	39
10	中対馬振興部	・・・・・・・・	41
11	上対馬振興部	・・・・・・・・	42
12	消防本部	・・・・・・・・	45
13	教育委員会事務局	・・・・・・・・	48

令和2年度 対馬市組織目標の評価一覧

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
総務部	1	01-01	ホームページのリニューアル及びSNS開設による情報発信の強化	◎
	2	01-02	安全安心のまちづくりの推進	△
	3	01-03	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表	△
	4	01-04	入札・契約の適正化	○
しまじくりの推進部	5	02-01	第2次対馬市総合計画（後期計画）の策定	○
	6	02-02	第2期対馬市総合戦略の着実なスタート	○
	7	02-03	過疎地域自立促進計画の策定	—
	8	02-04	様々な機関や業種団体と連携した産業の振興	○
	9	02-05	U・Iターン推進事業	○
	10	02-06	島づくり人財育成	◎
	11	02-07	洋上風力発電の導入可能性検討	△
観光交流商工部	12	03-01	観光客の受入体制の整備に向けた取組み	◎
	13	03-02	島内消費の底上げ及び観光客の誘致に向けた取組み	◎
	14	03-03	新たな観光資源の発掘と人口交流の創造	—
	15	03-04	国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口拡大	△
	16	03-05	ツシマヤマネコ・生物多様性保全活動の推進	○
	17	03-06	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用	△
市民生活部	18	04-01	滞納処分の強化	△
	19	04-02	各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションの推進	△
	20	04-03	漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策の推進	△
福祉保険部	21	05-01	高齢者の生きがいの創出	○
	22	05-02	子育て応援住宅支援事業	△
	23	05-03	適正な保護決定に向けた組織的運営の実施	○

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
健康 推進 づくり 部	24	06-01	特定健診の受診率向上	△
	25	06-02	買い物支援事業	△
	26	06-03	介護予防自主グループの活動継続支援	◎
農林 水産 部	27	07-01	対馬しいたけ振興事業	△
	28	07-02	対馬猪鹿活用促進事業	○
	29	07-03	学校給食地場農林水産物導入事業	△
	30	07-04	島内での供給システムの構築	△
	31	07-05	新規漁業研修生への支援	◎
	32	07-06	海洋保護区の設定	○
	33	07-07	基盤整備工事の早期発注、早期完成	△
建設 部	34	08-01	市営住宅使用料未収金の縮小	△
	35	08-02	公共工事の早期発注・早期完成	◎
(水 道 局)	36	09-01	水道料金の収納率向上	○
	37	09-02	水道事業の有収率向上	△
振中 興対 馬部	38	10-01	中対馬未来づくりアクションプランの推進	△
振上 興対 馬部	39	11-01	対馬の自然を活かした観光地の整備	○
	40	11-02	公共工事の早期発注・早期完成	△
	41	11-03	対馬の希少動物の保存と活用による観光振興	○
消防 本部	42	12-01	地区消防団員の増員、車両の適正配置及び資機材の充実配備	△
	43	12-02	新型コロナウイルス等対策	△
	44	12-03	違反公表制度開始に伴う消防用設備等設置指導	△
教育 委員 会事 務局	45	13-01	島っこ留学制度による留学生の招致推進	◎
	46	13-02	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成	○
	47	13-03	地域の特性を活かした生涯学習の推進	○
	48	13-05	文化財の保存・活用	◎

■ 集 計 表

項 目		結 果
◎	目標を上回る実績	9
○	目標どおりの実績	15
△	目標を下回る実績	22
×	目標を著しく下回る実績	0
—	評価不能	2
計		48

全体	1
個別	01-01

令和2年度〔総務部〕目標の成果

課名等	総務課
-----	-----

区分	項目	ホームページのリニューアル及びSNS開設による情報発信の強化
1	【内容】 公式ホームページのリニューアルにおいて、見やすさ、検索しやすさなど、閲覧者が利用しやすいデザインとページの構成に重点を置き、本市の情報がしっかりと伝わるホームページを開設します。 また、公式SNSを活用した情報発信体制の確立及び公式ホームページと連動した活用など、本市の情報発信を強化します。	
組織目標	【指標】 ○対馬市公式ホームページのリニューアル ○対馬市公式SNS（Facebook、LINE）の開設	
2	○対馬市公式ホームページのリニューアル ホームページのリニューアルにあたり、公募型プロポーザル方式による業者の選定を行いました。構築にあたっては、見やすさ、使いやすさに重点を置き構成を考慮し、令和3年4月1日から開設しました。 ○対馬市公式SNS（Facebook、LINE）の開設 令和2年度中に「Facebook」「LINE」「Instagram」を開設し、市政情報、イベント情報、災害情報等を発信しています。	
実績（成果）		
3	◎	予定していたFacebookとLINEに加えて、Instagramを開設し、ホームページと連動した活用など、本市の情報発信を強化しました。
評価		
4		公式ホームページは、閲覧者がより利用しやすいものとなるよう、情報の充実化を図ります。さらに、公式SNSについては、それぞれの特徴を生かし、情報発信の強化に努めます。
今後の展開		

全体	2
個別	01-02

令和2年度〔総務部〕目標の成果

課名等	地域安全防災室
-----	---------

区分	項目	安全安心のまちづくりの推進
1	【内容】	<p>洪水、豪雨、高潮、地震等の災害に対して、地域住民の自助・共助による取組を促進するとともに、防災・災害対策に取り組む組織的な体制を整備することにより、安全安心のまちづくりを図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織活動の促進など地域における防災力の向上 ・防災関係各種マニュアルの作成・改正による防災体制の整備 ・空き家対策に関する組織体制の構築
組織目標	【内容】	
2	実績（成果）	<p>地域住民の自助・共助による取組の促進のため、3地区に啓発を行うとともに、自主防災組織の結成のため協議を継続中です。</p> <p>組織的な防災体制の構築については、各種マニュアルの検討を行うとともに、個別の例規等の策定にとどまらず、最上位の計画である地域防災計画の改正を含め、防災関係の各種例規等について総合的に調整することとし、全体の調整方針について検討を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の新規結成 実績なし ・洪水ハザードマップ（厳原本川・佐護川）、避難所運営マニュアルの策定 ・空家等対策計画を策定し、同対策に関する庁内の組織体制を定めました。
3	評価	<p>△</p> <p>空き家対策に関する組織体制の構築については、新たに策定した空家等対策計画に定め、洪水ハザードマップ（厳原本川・佐護川）及び避難所運営マニュアルの策定についても達成できましたが、自主防災組織の結成促進については、新規結成3組織の目標に対し、実績を残すことができませんでした。</p>
4	今後の展開	<p>自主防災組織の結成促進のため、引き続き自主防災活動の重要性等について啓発を行い、結成促進を図ります。</p> <p>防災関係の例規等については、全体の調整方針に沿って策定の優先順序を設け、まず土砂災害ハザードマップの改訂を行い、次いで国民保護計画等、加えて、各種例規・マニュアルの整備を進めます。</p> <p>また、市民に向け、空き家対策に関する組織体制を含め、空家等対策計画の周知を図ります。</p>

全体	3
個別	01-03

令和2年度〔総務部〕目標の成果

課名等	財政課
-----	-----

区分	項目	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表		
1 組織目標	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況や予算・決算などについて、広報・公式ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。 ・将来にわたって健全な財政運営を確保するため、第4次対馬市中期財政計画（計画期間：令和3年～令和7年度）を策定します。 		
	【指標】			
	公表項目	ホームページ	広報	
	令和2年度当初予算概要	○	○	
	令和元年度下半期及び令和2年度上半期予算の執行状況	○	○	
	令和元年度決算	○	○	
	令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率	○	—	
	令和元年度財務書類（財務4表）	○	—	
第4次対馬市中期財政計画	○	—		
2 実績（成果）	・財政状況等公表状況			
	公表項目	ホームページ	広報	
	令和2年度当初予算概要	○	○	
	令和元年度下半期及び令和2年度上半期予算の執行状況	○	○	
	令和元年度決算	○	○	
	令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率	○	—	
	令和元年度財務書類（財務4表）	○	—	
	第4次対馬市中期財政計画	×	—	
3 評価	△	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予算をわかりやすく説明した「対馬市のしごと（令和2年度の予算）」を作成し、市内全世帯に配付するとともに、公式ホームページに掲載しました。 ・令和元年度の決算状況について公表しました。 ・統一基準による財務書類（財務4表）（令和元年度分）を作成し、公式ホームページに掲載しました。 ・第4次対馬市中期財政計画については、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市税や地方交付税等の大きな財源見直しが必要と判断し、翌年度に見送ることとしました。 		
4 今後の展開	<p>今後、ますます厳しい財政状況となることが予想されるので、しっかりとした財政見通しを立て、健全な財政運営に努め、市の財政状況について市民にわかりやすい形で公表していきます。</p>			

全体	4
個別	01-04

令和2年度〔総務部〕目標の成果

課名等	財政課
-----	-----

区分	項目	入札・契約の適正化	
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。</p> <p>また、現在の入札参加資格者申請について検証を行い必要に応じ、改めるよう努めます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低制限基礎価格の乗率を建設工事については90%、コンサル業務、役務については75%とすることを継続し適正な落札率となるよう運用を図ります。 ・現在の入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じて改めます。また、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めます。 ・当初発注予定工事公表分（64件）の入札実施目標 <ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期 25件 ・第2四半期 31件 ・第3四半期 7件 ・第4四半期 1件 ・平成27年度より入札時に提出を義務づけた工事費内訳書について、引き続き制度の周知徹底に努めます。 	
2		実績（成果）	<p>本課が取り扱った入札契約件数は、建設工事173件、建設工事関連コンサルの入札55件、物品・役務等85件でした。</p> <p>最低制限基礎価格の乗率に対して各平均落札率は、建設工事で92.00%（令和2年度91.97%）でほぼ昨年と同等であり、コンサル業務、役務は91.48%（令和2年度86.74%）で昨年度を上回る結果となりました。物品については83.81%（令和2年度83.33%）でした。</p>
3			評価
4		今後の展開	

全体	5
個別	02-01

令和2年度〔しまづくり推進部〕目標の成果

課名等	政策企画課
-----	-------

区分	項目	第2次対馬市総合計画（後期計画）の策定
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>第2次対馬市総合計画（前期計画）が本年度でその期間を終了することから、前期計画の主要施策について全体検証を行うとともに、今般の社会・経済情勢を加味し、令和3年度から令和7年度を期間とする第2次対馬市総合計画（後期計画）を策定します。</p> <p>【指標】</p> <p>【今年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第2次対馬市総合計画（前期計画）達成状況の把握と検証及び後期計画策定のための対馬市総合計画等審議会の開催⇒4回 ○対馬市議会での概要説明のための全員協議会の開催⇒1回 ○関係者ヒアリング及び市民等説明会、ワークショップの開催⇒3回
2		<p>実績（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬市総合計画等審議会の開催：4回 令和2年8月、10月、11月、令和3年2月に開催 （令和2年8月の第1回審議会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面による協議を行いました。） ・議員全員協議会において概要説明：2回 （第3回定例会及び第4回定例会の折概要説明を行い、翌年第1回定例会において後期計画の策定について承認されました。） ・関係者ヒアリング及び市民等説明会、ワークショップの開催 関係者ヒアリング38団体実施 （市民等説明会及びワークショップについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止しました。）
3	評価	<p>○</p> <p>第2次対馬市総合計画（後期計画）を策定したことで、各事業の推進にあたり、令和3年から令和7年までの目標が明確になりました。</p>
4		<p>今後 の 展 開</p> <p>対馬市総合計画等審議会において、事業の進捗把握と評価を行い検証し、目標を達成するために取組みを進めていきます。 また、事業評価につきましては、その結果を市議会に報告し、公式ホームページ等で公表します。</p>

全体	6
個別	02-02

令和2年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名等	政策企画課
-----	-------

区分	項目	第2期対馬市総合戦略の着実なスタート		
1	組織目標	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口減少抑制のための戦略として、令和元年度に策定した第2期対馬市総合戦略に掲げる4つの重点分野における20の主要施策を中心に、特に新規主要施策が着実にスタートできるよう、庁内各部署と連携、調整を行います。 ○第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度実績の検証及び第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略における主要施策毎の目標項目及び数値等を決定します。 <p>【指標】</p> <p>【達成年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戦略の期間：第2期戦略（令和2年度～令和7年度） ○最終的なKPIの達成年度：令和7年度 <p>【今年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1期総合戦略に掲げる施策の実施状況、各重点戦略に掲げるKPIの達成状況の把握と検証及び第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の主要施策毎のKPI等の協議・決定 →総合戦略推進会議の開催1回 ○KPI達成のための各種交付金の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進交付金の新規申請件数：3件 ・離島活性化交付金の新規申請件数：3件 		
2		実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ○第1期総合戦略に掲げる施策の実施状況、各重点戦略に掲げるKPIの達成状況の把握と検証、第2期総合戦略に掲げる実施計画、KPI項目等の設定に係る意見聴取、了承のため総合戦略推進会議を1回開催するとともに、議員全員協議会において、説明のうえ、意見を聴取しました。 ○KPI達成のため、地方創生推進交付金4件（令和2年度2次申請分2件を含む）、離島活性化交付金2件を新規申請しました。 	
3			評価	○
4		今後の展開		<p>第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる令和2年度主要施策及び地方創生推進交付金に係る検証及び令和3年度主要施策及び地方創生推進交付金の計画について、総合戦略推進会議の意見を踏まえ必要に応じ見直しを行います。</p>

全体	7
個別	02-03

令和2年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名等	政策企画課
-----	-------

区分	項目	過疎地域自立促進計画の策定
1	【内容】 過疎地域自立促進特別措置法の令和2年度末の期限満了に伴い、現在、新たな過疎法を要望中であることから、新過疎法に対応した令和3年度から令和7年度までの5か年の過疎地域自立促進計画を策定することで、交付税措置等有利な起債を活用し、本市内のハード・ソフトの各事業を計画的に実施できる環境を整備します。	
組織目標	【指標】 ●新たな「過疎地域自立促進計画」の策定のための関係課ヒアリングの実施 ●対馬市議会での計画内容説明等のための全員協議会の開催 (法律の変更内容等次第) ⇒ 1回	
2	●いずれの指標も未実施	
実績(成果)		
3	—	市町村の作業は、新過疎法（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法）の施行を受け、都道府県において定められる「過疎地域持続的発展方針」と整合させた市町村計画を策定する流れとなるもので、策定作業年度を誤認していたものです。
評価		
4		令和3年4月1日に過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことに伴い、新たな過疎法に対応した市町村計画を策定することで、交付税措置等有利な起債を活用し、本市内のハード・ソフトの各事業を計画的に実施できる環境を整備します。
今後の展開		

全体	8
個別	02-04

令和2年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名等	しまの力創生課
-----	---------

区分	項目	様々な機関や業種団体と連携した産業の振興
1	【内容】 事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。 また、有人国境離島法に基づく雇用機会拡充支援事業補助金を交付し、雇用を伴う創業や事業拡大を行う民間事業者の支援を行います。	
組織目標	【指標】 ・ワンストップ相談窓口等での相談受付 : 40件 ・創業の目標件数 : 3件 ・被雇用者の増加目標人数 : 15名 ※創業等支援事業と雇用機会拡充支援事業の合計での目標数値	
2	・ワンストップ相談窓口等での相談受付 : 85件 ・創業の件数 : 2件 ・被雇用者の増加人数 : 12名	
実績(成果)		
3	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、目標に対し創業の件数が1件、被雇用者数の増加件数が3名届かなかったが、相談件数は目標を大幅に超えており、当該年度及び今後の「なりわいづくり」について一定の成果が上がりました。 また、新型コロナウイルス感染症の影響による倒産・廃業や雇い止めが少なくなるよう相談窓口の拡充や助成金も創設、交付し一定の成果が上がりました。	
評価		
4	ワンストップ相談窓口のさらなる利用を促すだけでなく、長崎県や商工会、銀行等の関係機関や市役所の他部署との連携を密にし、創業や事業の拡大希望者を掘り起こします。 また、創業や事業拡大のみならず、労働人口が減少し、労働力の確保が難しくなる中で、人材の確保が進むように、人材育成の支援を図っていきます。	
今後の展開		

全体	9
個別	02-05

令和2年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名等	しまの力創生課
-----	---------

区分	項目	U・Iターン推進事業
1	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> ○移住・定住推進事業補助金を交付することで移住・定住の支援を行い、U・Iターン者数の増加を図ります。 ○お試し住宅及び定住支援住宅の整備を行うとともに、空き家バンク登録への啓発を強化し、移住者用住宅を確保します。 ○対馬市内にて高卒予定者と市内企業をつなげる相談会や対馬への移住実績の半数を占める福岡市にて、移住希望者と企業をつなげる相談会を実施します。また、大都市で開催される移住相談会へ参加し、情報発信を行います。
	組織目標	<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種相談等対応者数 300件 ○空き家バンク登録 10件 ○移住者数 75名
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ○各種相談等対応者数 408件 ○空き家バンク登録 16件 ○移住者数 128名 ○移住・定住推進事業補助金交付実績 <ul style="list-style-type: none"> ふるさと就職奨励補助金 5件 500千円 結婚移住奨励補助金 8件 400千円 しま暮らし支援補助金 42件 5,776千円 奨学金返還支援補助金 9件 1,354千円 空き家改修費等補助金 4件 1,322千円 計 68件 9,352千円
3	評価	<p>○</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、大都市で開催される移住相談会や福岡市での企業相談会が中止となり、情報発信の機会は減少しましたが、オンラインによる移住相談会への参加や移住・定住推進事業補助金の交付などを行い、各種相談等対応者数、移住者数ともに目標値は上回ることができました。</p>
4	今後の展開	<p>「子育て世帯」を移住者ターゲットとした情報発信や環境整備を実施し、若者の移住・定住の推進を目指します。また、移住後のフォローアップを強化し、移住希望者のニーズの把握に努めます。</p>

全体	10
個別	02-06

令和2年度〔しまづくり推進部〕目標の成果

課名等	しまの力創生課
-----	---------

区分	項目	島づくり人財育成																								
1	【内容】	Society5.0や人口急減社会といった急激な社会変化に順応しながら、地方創生SDGsに向けたイノベーションやリーダーシップ力を発揮できる「実践型人財」の育成を、第1次総合戦略で推進してきた域学連携での大学ネットワークやESD（持続可能な地域の担い手づくり）の知見等を活かして強力で推進します。																								
組織目標	【指標】	<table border="0"> <tr> <td>①「対馬グローバル大学」（仮称）の開催</td> <td>受講者数</td> <td>…15名</td> </tr> <tr> <td>②「対馬市SDGs実践塾」の開催</td> <td>受講者数</td> <td>…50名</td> </tr> <tr> <td>③「対馬学」研究奨励補助制度</td> <td>補助件数</td> <td>…10件</td> </tr> <tr> <td>④せんだんご速醸研究及び生産実証</td> <td>現地対馬での速醸技術の確立</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤「対馬学フォーラム」の開催</td> <td>参加者数</td> <td>…300名</td> </tr> </table>	①「対馬グローバル大学」（仮称）の開催	受講者数	…15名	②「対馬市SDGs実践塾」の開催	受講者数	…50名	③「対馬学」研究奨励補助制度	補助件数	…10件	④せんだんご速醸研究及び生産実証	現地対馬での速醸技術の確立		⑤「対馬学フォーラム」の開催	参加者数	…300名									
①「対馬グローバル大学」（仮称）の開催	受講者数	…15名																								
②「対馬市SDGs実践塾」の開催	受講者数	…50名																								
③「対馬学」研究奨励補助制度	補助件数	…10件																								
④せんだんご速醸研究及び生産実証	現地対馬での速醸技術の確立																									
⑤「対馬学フォーラム」の開催	参加者数	…300名																								
2	実績（成果）	<p>令和2年7月17日に国のSDGs未来都市の選定を受け、「対馬市SDGs来都市計画」を策定し、持続可能なしまづくりを担う人財育成の実行に着手しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>①「対馬グローバル大学」（仮称）の開催</td> <td>受講者数</td> <td>…156名</td> </tr> <tr> <td>②「対馬市SDGs実践塾」の開催</td> <td>受講者数</td> <td>…0名</td> </tr> <tr> <td>③「対馬学」研究奨励補助制度</td> <td>補助件数</td> <td>…0件</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※②③は新型コロナウイルスの影響で中止</td> </tr> <tr> <td>④せんだんご速醸研究及び生産実証</td> <td>現地対馬での速醸技術の確立</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">…速醸に必要な温度確保面で課題が残り技術を確認できなかった</td> </tr> <tr> <td>⑤「対馬学フォーラム」の開催</td> <td>参加者数</td> <td>…182名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※新型コロナウイルスの影響でオンラインで開催</td> </tr> </table>	①「対馬グローバル大学」（仮称）の開催	受講者数	…156名	②「対馬市SDGs実践塾」の開催	受講者数	…0名	③「対馬学」研究奨励補助制度	補助件数	…0件	※②③は新型コロナウイルスの影響で中止			④せんだんご速醸研究及び生産実証	現地対馬での速醸技術の確立		…速醸に必要な温度確保面で課題が残り技術を確認できなかった			⑤「対馬学フォーラム」の開催	参加者数	…182名	※新型コロナウイルスの影響でオンラインで開催		
①「対馬グローバル大学」（仮称）の開催	受講者数	…156名																								
②「対馬市SDGs実践塾」の開催	受講者数	…0名																								
③「対馬学」研究奨励補助制度	補助件数	…0件																								
※②③は新型コロナウイルスの影響で中止																										
④せんだんご速醸研究及び生産実証	現地対馬での速醸技術の確立																									
…速醸に必要な温度確保面で課題が残り技術を確認できなかった																										
⑤「対馬学フォーラム」の開催	参加者数	…182名																								
※新型コロナウイルスの影響でオンラインで開催																										
3	評価	<p>新型コロナウイルスで様々な制限がある中、オンラインツールを活用することで、多くの参加者が得られただけでなく、新たな事業展開の可能性を見いだすことができました。</p> <p style="text-align: center;">◎</p>																								
4	今後の展開	<p>SDGsの推進において、島づくりを担う人財育成は重要な施策です。今年度も引き続き、「対馬市SDGs未来都市計画」に基づく各ゴールの実践に向けて取り組んでいきます。また、庁内に市長を本部長とする「対馬市SDGs推進本部」を設置し、組織内の横断的な連携調整、市民、島内外の企業、関係機関との連携を促すことで、さらなる人財育成に努めます。</p>																								

全体	11
個別	02-07

令和2年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名等	しまの力創生課
-----	---------

区分	項目	洋上風力発電の導入可能性検討
1	【内容】 対馬市周辺海域での洋上風力発電の導入可能性を検討するため、長崎県ゾーニング実証事業により、長崎県と共同で海の利用状況や周辺環境の調査を行い、関係団体で構成する協議会において、環境保全を優先するエリアや洋上風力発電事業を推進しうるエリア等の設定を行う「ゾーニング」の実施と洋上風力発電事業と地域の共生策の検討を行います。	
組織目標	【指標】 ○協議会の開催：2回 ○事業推進エリアの設定検討	
2	○市内の漁業協同組合、航路・海運事業者、観光物産協会等の代表者を委員とする協議会を3回開催し、洋上風力発電の導入可能性について協議を実施しました。 ○「事業推進エリア」の設定検討まではできず、引き続き事業実施の可能性を検討していくエリアとして「候補エリア」を2か所選定しましたが、うち1か所は、後に候補エリアから除外することとなりました。	
3	△ 協議会の開催回数こそ目標を達成したものの、事業推進エリアの設定検討には至らず、候補エリアの選定に留まり、さらには選定した後に候補エリアの一部を候補エリアから除外する事態も発生し、円滑な事業推進を図れませんでした。	
4	選定した候補エリアを基に、引き続き協議を行い、洋上風力発電事業の実施可能性を検討していきます。	
今後の展開		

全体	12
個別	03-01

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	観光商工課
-----	-------

区分	項目	観光客の受入体制の整備に向けた取組み
1	【内容】	顧客満足度及び利便性の向上を図るため、宿泊及び飲食店の施設機能を高める支援を行うとともに、観光しやすい環境を整備します。
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ○宿泊、飲食店への施設整備 対馬市宿泊施設等機能向上整備支援補助金 採択件数 15件 ○観光しやすい環境整備 Wi-Fi機器整備 全島エリア 42か所 完全自己処理型トイレ整備 2か所
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ○対馬市宿泊施設等機能向上整備支援補助金実績 採択件数 33件（54,172千円） ○Wi-Fi機器整備 43か所（アクセスポイント：56基） ○完全自己処理型トイレ整備 2か所（豆敷崎公園内、県道39号線峰町志越付近）
3	評価	<p style="text-align: center;">◎</p> <p>宿泊施設等機能向上整備は、目標の2倍を超える申請件数でトイレや外壁、内壁等の改修が進み、清潔感と快適性が整った訪れしやすい環境へと改善されました。また、Wi-Fi機器及びトイレ整備は、当初の計画通り整備が進行し、情報基盤充実化とストレスフリーによる観光しやすい環境へと受入体制の強化が図られました。</p>
4	今後の展開	<p>宿泊施設等の整備は、コロナウイルス感染防止に配慮した整備事業を検討するとともに、おもてなし協議会の事業を展開することで、個人客、旅行社が利用しやすくなるような受入体制を推進します。</p> <p>Wi-Fi機器整備は、全島一斉に機器更新をしつつ新たなエリアを拡充しており、利用状況を把握しながら必要に応じた整備を検討します。</p> <p>トイレ整備は、今回、新たな技術による自己処理型水洗トイレを導入しており、当該トイレの利用状況や維持管理などの運用を把握しながら新たなエリアの設置等を検討します。</p>

全体	13
個別	03-02

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	観光商工課
-----	-------

区分	項目	島内消費の底上げ及び観光客の誘客に向けた取組み
1	【内容】	島内消費の底上げ及び拡大により地域経済の活性化を図るとともに、観光客の誘客を加速化させるため、クーポン券等の発行事業を行います。
組織目標	【指標】	○島民クーポン券の発行 発行冊数 18,500冊（1冊5枚綴り） 1冊5,000円のクーポン券を3,000円で販売
		○観光クーポン券の発行 発行冊数 10,000冊（1冊5枚綴り） 1冊5,000円のクーポン券を2,000円で販売
2		○島民クーポン券発行実績 販売期間：令和2年6月22日～10月30日 発行冊数：27,350冊 換金額：136,268千円
実績（成果）		○観光クーポン券発行実績 販売期間：令和2年2月3日～4月12日（新型コロナにより販売期間短縮） 発行冊数：18,000冊 換金額：30,650千円
3	◎	上記事業に加え、島民クーポン事業や国のGOTOトラベル事業の波及効果が及んでいない「飲食店」「タクシー事業者」支援に向けた「対馬たべのる券事業（令和2年12月8日～令和3年3月14日）」を実施し、市民による消費喚起策を実施し、効果を得ることができました。 発行実績：88,191千円 換金実績：84,197千円
評価		なお、観光客誘客に向けた事業については、GOTOトラベル事業やしま旅事業によるクーポンが多数展開されていたため、市独自の事業としては静観し、上記事業終了後に向けた準備を進めました。
4		新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の自粛傾向による減少に加え、市民の外出等の自粛傾向が長期間続き、宿泊事業者・飲食事業者をはじめ観光関係事業者は大きな影響を受け、雇用の安定や事業継続が難しい状況となっています。 次年度も雇用環境の崩壊と市内経済の地盤沈下を最小限にするため市内経済刺激策及び事業支援を時期を見極めて実施し、市内経済の下支えをするとともに、アフターコロナの観光客の戻りに備えた事業の存続を図ります。
今後の展開		

全体	14
個別	03-03

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	観光商工課
-----	-------

区分	項目	新たな観光資源の発掘と人口交流の創造
1	【内容】 「国境サイクリングIN対馬」を開催し、国内外のサイクリストの方々に、対馬の豊かな自然や独自の風土を体感していただくことで、新たな観光資源の発掘と人口交流の拡大を図ります。	組織目標
	【指標】 ◆国境サイクリングIN対馬 参加者140名	
2	◆国境サイクリングIN対馬 実施予定日：令和2年10月17日（土） 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止	実績（成果）
3	— 新型コロナウイルス感染防止の観点により開催を中止したものの、前年度実施のイベントに対するアンケートで満足度が非常に高かった状況を反映し（80人中、かなり満足が66%、満足が34%）、今年度の開催に関する問い合わせが数十件あっており、イベントそのものに対する関心度は高まっています。	
4	対馬の自然や食を活かした、国境感あふれるイベントを基本として、特に、関西、関東エリアからの参加を促進するとともに、令和5年度までに参加規模を200名程度まで拡大できるよう事業展開を行います。 また、このイベントによる人の流れが観光産業の発展に寄与できるように関連事業者と連携し、国境マラソンに次ぐ継続的なイベントとして形成し、対馬の代表イベントとして定着化を図ります。	今後の展開

全体	15
個別	03-04

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	文化交流・自然共生課
-----	------------

区分	項目	国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口拡大
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>①（仮称）朝鮮通信使資料館の完成を目指します。</p> <p>②COVID-19の感染拡大防止を視野に、「密」を作る可能性が高いイベント実施の可否検討と、その中で可能な朝鮮通信使PR、国際交流・国際理解に関する市民対象の情報提供等を行います。</p> <p>③朝鮮通信使のまちづくり事業として、キャラクターPRグッズ制作、朝鮮通信使PRイベントを実施します。（COVID-19感染拡大防止による事業実施可否検討を慎重に行った上で）</p> <p>④COVID-19の影響終了後の国際交流イベントの実施、支援を行います。</p> <p>【指標】</p> <p>①（仮称）朝鮮通信使資料館の年度内完成、運営にかかる各種条例等の整備、開館</p> <p>②朝鮮通信使島内PRのためのCATV出演など、3回以上</p> <p>③朝鮮通信使PRイベント（朝鮮通信使に関するシンポジウム）の実施（COVID-19感染拡大防止による事業実施可否検討を慎重に行った上で）150名動員、イベントに合わせたPRグッズ（ペーパーバック3,000枚、ハンドブック6,000冊）の制作</p> <p>④市民向け韓国情報誌の6回発行</p>
2		実績（成果）
3	評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p>全世界に拡大したCOVID-19（新型コロナウイルス）の影響により、朝鮮通信使PRイベントを初め予定していたイベントが中止となりました。</p> <p>また、COVID-19（新型コロナウイルス）の感染拡大や日韓情勢の悪化の影響により国際航路（比田勝～釜山）の全面運休が継続しており、インバウンドの回復を見込めない状況にあります。厳しい情勢ではあったものの、国際交流員を活用した韓国情報誌の発行など概ね予定どおり実施しました。</p>
4		今後の展開

全体	16
個別	03-05

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	文化交流・自然共生課
-----	------------

区分	項目	ツシマヤマネコ・生物多様性保全活動の推進
1	【内容】	ツシマヤマネコ等希少種の保護・啓発活動を実施します。また、特定外来生物の市民参加型防除活動、調査を行います。
組織 目標	【指標】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュによるツシマウラボシシジミ保全区域 1か所 ・全国の動物園等における対馬の自然普及啓発事業 2か所 ・市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罟設置 2,000か所 ・ツマアカスズメバチ化学的防除手法の試行 5か所 	
2		<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュによるツシマウラボシシジミ保全区域 1か所 ・全国の動物園等における対馬の自然普及啓発事業 1か所 ・市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罟設置 2,300か所 ・ツマアカスズメバチ化学的防除手法の試行 150か所
3	○	<p>コロナ禍によりツシマヤマネコ飼育動物園等でのツシマヤマネコ普及啓発イベントは実施が危ぶまれましたが、対馬からリモートで参加する形で開催することができました。また、防鹿柵で囲ったツシマウラボシシジミ保全区を設置し、生息環境を復元整備したことで、本種の絶滅を回避し、安定的な個体群創出に寄与しました。</p> <p>特定外来生物ツマアカスズメバチの防除対策としては、春季に女王蜂を捕獲・駆除するとともに、秋季には誘引液と薬剤を活用した化学的防除を試行し、巣の発生を抑えました。</p>
評価		
4	今後の展開	<p>今後も継続して島内でツシマウラボシシジミや希少野生動植物の保全活動を実施するとともに、島外に向けて対馬の自然の魅力をPRして対馬ファンを増やし、確実に保護活動の輪を広げてゆきます。</p> <p>また、外来種対策では環境省や研究機関と連携協力して、化学的防除手法の確立を目指し、効果的かつ順応的な防除を推進します。</p> <p>近年のシカによる下層植生への食害対策としては、希少植物の分布生育調査等を実施し、対策地域の優先箇所を選定した上で、シカ捕獲駆除等を進めます。</p>

全体	17
個別	03-06

令和2年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名等	博物館建設推進課
-----	----------

区分	項目	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用
1	【内容】 1 博物館施設(交流棟ゾーン)の整備推進を行います。 2 博物館の開館を見据え、博物館や対馬の文化財の魅力を市内外に発信します。 3 博物館開館準備のため、博物館に収蔵する資料の選定と整理を実施します。 【指標】 1-①既存施設の解体 ②交流棟ゾーン建設工事の実施 ③博物館施設駐車場の整備 2-①公式ホームページやSNSを利用した情報の発信 ②博物館に関するイベントの開催 2回/年 ③開館に向けた対馬博物館ホームページの開設と広報 3-①博物館収蔵資料の選定及び整理 ②博物館資料収蔵計画の策定	
組織目標		
2	1 既存施設(対馬歴史民俗資料館)の解体及び博物館駐車場の整備は完了し、交流棟ゾーンの建設を進めています。 2 対馬博物館ホームページ及び新たなSNSを開設し、情報発信を強化するとともに博物館普及啓発イベントを開催しました。 ・SNSを利用した情報発信: 35回 ・ワークショップの開催: 2回(参加者30名) ・令和2年10月に対馬博物館ホームページを開設 3 博物館に収蔵する資料の調査・選定は完了し、博物館資料収蔵計画の策定を進めています。	
実績(成果)		
3	△ 既存施設解体工事におけるアスベスト飛散防止措置や博物館施設の機能向上のためのキャノピー設置工事等を追加したことによる工期の延長により、開館を令和4年度に延期しました。 また、対馬博物館ホームページや新たなSNSを開設し、情報発信力を強化したとともに、博物館を体感していただくため、館内を会場とした普及啓発イベントを開催し、大人から子どもまで博物館に関心を持っていただく機会を創出しました。 さらに、博物館収蔵資料の選定が完了しましたので、関係機関等と連携しながら収蔵計画の策定を進めています。	
評価		
4	博物館完成に向け、引き続き建設工事を進めていくとともに、各種情報発信ツールを活用した多角的な発信による知名度の向上と来年度の開館に向けて来場者の誘引につなげていきます。 また、関係機関との連携、資料所有者等との交渉を進めながら資料収蔵計画の策定を進めていきます。	
今後の展開		

全体	18
個別	04-01

令和2年度〔市民生活部〕目標の成果

課名等	税 務 課
-----	-------

区分	項目	滞納処分の強化	
1	【 内 容 】	<ul style="list-style-type: none"> ・厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い、差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図ります。 ・長期差押不動産の換価価値を精査したうえで、換価が見込めるものは公売し、換価困難なものについては他の滞納整理方法を検討します。 ・軽自動車税の徴収を強化します。 ・市民税の特別徴収を推進します。 	
組織 目標	【 指 標 】		
	市税 現年分徴収率	98.50 % (前年度実績)	97.82 %
	滞納分徴収率	15.00 % (前年度実績)	12.06 %
	国保税 現年分徴収率	94.00 % (前年度実績)	93.01 %
	滞納分徴収率	13.00 % (前年度実績)	10.88 %
2	【令和2年度実績】		
実績 (成果)	総計	現年分徴収率 97.10 %	滞納分徴収率 11.54 %
	市税	97.80 %	11.29 %
	市民税（個人）	98.14 %	12.85 %
	固定資産税	96.82 %	9.04 %
	軽自動車税	97.43 %	20.17 %
	国民健康保険税	94.62 %	11.78 %
	所管別	現年分徴収率	滞納分徴収率
	厳原町	94.97 %	12.26 %
	美津島町	93.37 %	11.96 %
	豊玉町	96.29 %	12.46 %
	峰町	94.50 %	6.60 %
	上県町	97.17 %	13.07 %
	上対馬町	96.30 %	11.75 %
※市民税特別徴収実施率： 57.65%（前年 56.82%）			
3	△	現年分及び滞納分それぞれの徴収率は、目標を下回りましたが、税目別では、新型コロナウイルスの影響による徴収猶予の特例適用の影響もあり、固定資産税が現年分及び滞納分共に下回りましたが、市民税・軽自動車税・国民健康保険税においては上回りました。しかしながら、県下市町では、依然として低い順位に位置しているため、今後も一層徴収を強化します。また、市民税特別徴収実施率については、年々緩やかではありますが上昇傾向となっています。	
評価			
4	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・財産等の調査、差押え及び滞納処分の強化を図り徴収率の向上に努めます。 ・滞納者と向き合い、細やかな接触を行い実態把握に努め、新規滞納者の解消を図ります。 ・分納誓約者の履行監視を強化します。 	

全体	19
個別	04-02

令和2年度〔市民生活部〕目標の成果

課名等	環境政策課
-----	-------

区分	項目	各種団体が連携したりサイクル、ゼロ・エミッションの推進
1	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組みます。 ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を行います。 ・生ごみ堆肥化協力世帯の募集及び事業内容の周知を行います。
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化目標 550 t 以上 ・ごみの資源化目標 55 t 以上 ・生ごみ等資源再利用システム事業の実施 (目標回収世帯数：3,000世帯)
2	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化 342 t ・ごみの資源化 51 t ・生ごみ等資源再利用システム事業の実施 (回収世帯数 2,051世帯)
3	評価	<p>△</p> <p>令和2年度は、2,051世帯、週2回の回収を実施しました。生ごみ回収量は342tとなっており、ごみ量の削減にも繋げることができました。また、資源化については、51tの堆肥を製造しており、目標としていた55tの92%を達成することができました。</p> <p>しかしながら、目標とする3,000世帯、生ごみ回収量550tには届きませんでした。</p>
4	今後の展開	<p>生ごみ等の分別回収及び堆肥化に取り組み、将来的には市内全域での回収に向けて収集体制の構築を図るとともに、回収した生ごみ等については、「生ごみ等堆肥化施設」において堆肥化に取り組み、堆肥の品質及び供給体制の確立を図っていきます。</p> <p>また、市内全地区へ協力世帯の募集を行うとともに、広報やCATV等を活用し、事業説明と周知を行います。更に回収量の増加を図るため、市内の事業所に対して事業協力依頼を行います。</p>

全体	20
個別	04-03

令和2年度〔市民生活部〕目標の成果

課名等	環境政策課
-----	-------

区分	項目	漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策の推進
1	組織目標	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な処理を進めていきます。 ・海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の回収・処理を参考に、漂着ごみの計画的な回収を実施します。 (回収・処理予定数量：トン袋で8,000袋) ・日韓市民ビーチクリーンアップ事業・日韓交流海ごみワークショップIN釜山及び漂着ごみ回収イベントを実施します。
2		<p>実績(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の海岸漂着ごみについては、長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、トン袋で6,941袋を回収しました。 ・発生抑制対策として釜山外国語大学と共同で実施している日韓市民ビーチクリーンアップ事業、日韓交流海ごみワークショップIN釜山については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。
3	評価	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度も長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、コロナ禍ではありましたが感染予防対策を図りながら海岸漂着物の回収を行い、海岸環境や景観に対し、一定の成果が得られました。 ・韓国の釜山外国語大学と共に実施している発生抑制対策事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じオンライン等での実施を予定していましたが感染拡大の影響により実施することが出来ませんでした。
4		<p>今後の展開</p> <p>回収及び処理経費の確保のため、引き続き、国・県による財政支援を要望していきます。併せて、漂着ごみの発生抑制対策に向けて取り組む必要があり、「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」など、国際交流事業等を通じて今後も継続的に普及、啓発に取り組んでいきます。</p> <p>さらに、海ごみの減容機・破砕機を導入し、ごみ処理経費の削減とリサイクルの推進を図り、脱炭素社会に向けてエネルギーへと転換するための有効な活用方法を検討します。</p>

全体	21
個別	05-01

令和2年度〔福祉保険部〕目標の成果

課名等	福祉課
-----	-----

区分	項目	高齢者の生きがいの創出												
1	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの拡充 高齢者の豊かな経験・知識や技能を生かせる臨時的・短期的な就業の場を提供することで「生きがい」の確保や福祉の増進を図り、高齢者の能力を大いに発揮できる活力ある地域社会づくりを目指して、会員の確保及び業務の拡大を推進します。 												
組織目標	【指標】													
2		<ul style="list-style-type: none"> ・会員数及び年間就業延人日数（単位：人日） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">平成29年度</td> <td style="width: 30%;">62人</td> <td style="width: 30%;">2,641人日</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>127人</td> <td>3,094人日</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>137人</td> <td>3,409人日</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>162人</td> <td>4,322人日</td> </tr> </table>	平成29年度	62人	2,641人日	平成30年度	127人	3,094人日	令和元年度	137人	3,409人日	令和2年度	162人	4,322人日
平成29年度	62人	2,641人日												
平成30年度	127人	3,094人日												
令和元年度	137人	3,409人日												
令和2年度	162人	4,322人日												
3		<p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">シルバー人材センターの拠点を下地区、中地区及び上地区に設置し、活動範囲を市内全域に拡大するとともに会員数及び年間就業延人日数も前年度から増加しました。</p>												
評価														
4		<p>シルバー人材センターの各拠点を中心として、更なる会員の拡大を図るとともに市の委託業務も積極的に受託し、事業量の拡大につなげていきます。</p> <p>また、将来的には、一般社団法人の設立を経て、公益社団法人への移行を目指します。</p>												
今後の展開														

全体	22
個別	05-02

令和2年度〔福祉保険部〕目標の成果

課名等	こども未来課
-----	--------

区分	項目	子育て応援住宅支援事業
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>安心して子どもを産み育てることのできる居住環境の整備を支援するため、多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上）や新たに3世代（親、子、孫）で同居・近居するために住宅の新築及び取得・改修を行う世帯に対し、その経費の一部を助成します。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬市子育て応援住宅支援事業補助金採択件数 5件
2		<ul style="list-style-type: none"> ・対馬市子育て応援住宅支援事業補助金採択件数 1件 <p>申請件数以上の問い合わせ等がありましたが、受付件数は2件で、最終的には採択件数1件となりました。</p>
3	評価	<p>△</p> <p>韓国観光客の減少と新型コロナウイルスの感染拡大により、景気が低迷する中において、住宅の新築、取得及び改修を行うこと自体が厳しい状況下にあります。その様な状況の中で、昨年度「実績なし」から今年度1件の実績に繋がったことは、多少なりとも成果があったものと考えます。</p>
4		
	今後の展開	

全体	23
個別	05-03

令和2年度〔福祉保険部〕目標の成果

課名等	保 護 課
-----	-------

区分	項目	適正な保護決定に向けた組織的運営の実施
1	【内容】 組織的運営について、適正な保護の決定実施のため現業員、査察指導員、課長が情報を共有し、意識統一を図り、組織全体で問題の解決に取り組みます。	
組織目標	【指標】 組織的運営については、課内で情報共有、意識統一を図るため月に1回、課内会議を行います。また、無作為に選定されたケースについて、隠れた問題がないかを確認するため、課内職員1人につき年に2日ずつ査察指導員が戸別訪問に同行し、問題があればその解決を図り、適正な保護の決定実施に取り組みます。	
2	・組織的運営については、課内で情報共有と意識統一を図るため、月に1回の定例課内会議を実施しました。 課内会議 ⇒ 12回実施	
実績（成果）	・現業員の戸別訪問に査察指導員が同行し、適正な保護の決定実施を図りました。 査察指導員の同行訪問 ⇒ 118回	
3	職員一人一人が目標達成に向けての意識を持ち、組織一丸となって問題の解決に取り組むことができました。	
評価	○	
4	定例の課内会議において意識の統一を図り、問題の解決に取り組みます。また、ケースの増加により、一人一人の業務量も増えていることから、問題を抱え込むことがないよう、今まで以上に組織運営・連携を図り、目標の達成に取り組みます。	
今後の展開		

全体	24
個別	06-01

令和2年度〔健康づくり推進部〕目標の成果

課名等	いきいき健康課
-----	---------

区分	項目	特定健診の受診率向上
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>第2次健康つしま21計画を推進するために、第3期特定健診等実施計画に基づき、受診率の向上を図ることで市民の健康への意識付けを行い健康寿命の延伸につなげます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率45%を目指します。 ・受診勧奨に努めます。 ・特定保健指導の実施率55%を目指します。
2		<p>実績（成果）</p> <p>CATVや広報等のメディアを活用した広報及び健診推進員による電話勧奨と臨戸訪問並びに健康つしま21推進員や食生活改善推進員等、地区組織などを活用して受診勧奨の活動を展開しました。また、消防団員を対象とした健診（中・北地区）を拡充実施したりと新たな試みを図ることで、過去最高の38%強（3月末時点）の結果となりました。</p>
3	評価	<p>△</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から積極的な受診勧奨や保健指導を実施することが出来ませんでした。40%近い成果は挙げることが出来ましたが、満足できる成果は得られませんでした。</p>
4		<p>今後の展開</p> <p>感染症の対策を実施しながら、これまで以上に各地区や年代などの受診率の低い原因をさらに分析し、市民健診の受診勧奨を地域に密着した健康つしま21推進員や食生活改善推進員などによる受診勧奨を行います。また、CATVや広報などの情報発信ツールも大いに活用し受診率の向上を目指します。</p>

全体	25
個別	06-02

令和2年度〔健康づくり推進部〕目標の成果

課名等	地域包括ケア推進課
-----	-----------

区分	項目	買い物支援事業
1	【内容】	<p>住み慣れた地元で自分らしい生活を続けるために必要な移動支援、買い物支援、見守り支援のうち、島内高齢者の買い物支援を検討・実施することで高齢者の生活を維持し、包括的に移動手手段確保、見守り支援、介護予防に寄与していきます。</p>
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内連携会議：年4回 公共交通事業、新規ビジネス補助金事業、高齢者移動費助成事業などを担当している部署と連携していく必要がありますので検討会議を実施します。 ・買い物支援事業計画策定：令和3年2月まで検討会議のなかで事業計画を策定し介護保健事業計画に反映します。 ・買い物支援事業実証事業：島内1か所以上 実証事業として、業者へ通いの場での移動販売、通いの場への送迎時にスーパー等に立ち寄る形態での買い物支援事業について検討・実施をします。
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内連携会議：3回 公共交通等各種事業などを担当している6つの部署の課長と社会福祉協議会が参加して検討会議を実施しました。 ・買い物支援事業計画策定：令和3年2月まで検討会議のなかで事業計画を策定し第8期対馬市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に反映しました。 ・買い物支援事業実証事業：令和3年度実施予定に変更 実証事業として、業者へ通いの場での移動販売、通いの場への送迎時にスーパー等に立ち寄る形態での買い物支援事業について検討していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、検討のうえ令和3年度以降実施予定としました。
3	評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p style="text-align: center;">新型コロナウイルスの感染拡大により実証事業は翌年度以降実施としましたが、庁舎内会議と実施計画の作成を完了しました。</p>
4	今後の展開	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止が最優先となりますが、対馬市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画の実施計画として定めた買い物支援事業推進計画に基づいて事業を実施します。</p>

全体	26
個別	06-03

令和2年度〔健康づくり推進部〕目標の成果

課名等	地域包括ケア推進課
-----	-----------

区分	項目	介護予防自主グループの活動継続支援
1	【内容】	<p>国は、高齢者の介護予防施策として、「通いの場」を推進しており、今後、一体的介護予防事業において「通いの場」は重要なフィールドとなります。今般の対馬市の状況をみますと、介護予防自主グループのグループ数は増加していますが、1グループあたりの参加者数が減少している状況です。また、新型コロナウイルス感染予防対策により各地域で活動をしている介護予防自主グループは大多数が活動自粛をしていますが、対馬市では、介護予防自主グループの活動がスムーズに継続できるように、関係各課と協力し、活動状況を把握し、必要に応じて活動継続のための支援を実施します。</p>
組織 目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防自主活動助成金決定団体の活動継続：49団体 ※第8期介護保険事業計画に介護予防自主グループ継続に向けた支援策及び目標値を計上
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 介護予防自主活動グループ活動実績 <p style="margin-left: 20px;"> 団体数 50団体 延べ実施回数 642回 延べ参加人数 5,903名 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8期介護保険事業計画に、介護予防自主活動グループ数の目標設定 (令和5年度までに60団体)
実績 (成果)	3	<p>新型コロナウイルス感染症への不安を解消するため、各グループへ感染予防のチラシを配付して活動場所の確認等を実施しました。介護予防自主グループ50団体が活動を継続できていますので目標を上回る実績となりました。</p> <p>また、第8期介護保険事業計画の目標を明確化するために介護予防の目標を数値化して設定しました。</p>
	◎	
評価	4	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止が最優先となりますが、介護予防活動及び通いの場の重要性を認識し、引き続き、介護予防活動及び通いの場への支援を継続します。</p>
	今後の展開	

全体	27
個別	07-01

令和2年度〔農 林 水 産 部〕目標の成果

課名等	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

区分	項 目	対馬しいたけ振興事業
1	組織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>対馬しいたけの生産量は年々減少し、高温多雨あるいは寒波などの気象の影響による不作や生産者の高齢化や担い手不足が主な要因です。</p> <p>そこで、これまでと同様にしいたけ種駒補助は継続しつつ、高齢者及び新規参入者の作業負担軽減等を目的として、しいたけ原木供給体制を維持し、担い手不足解消のため新規参入者等の技術支援を行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しいたけ生産推進 種駒補助 700万個 ・しいたけ原木の供給 9,000本 ・新規参入者向け研修会等 2回
2		<ul style="list-style-type: none"> ・しいたけ生産推進 種駒補助 783万個 ・しいたけ原木の供給 5,700本 ・新規参入者向け研修会等 実績なし
3	評 価	<p>△</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けたしいたけの需要減退対策として交付した補助金の効果により、年度末に実施した種駒補助は目標を上回りましたが、台風被害の影響により生産意欲の低下が見られ、しいたけ原木の供給については目標を大きく下回る結果となりました。</p> <p>また、新規参入者向け研修会等の実施については、新たな参入者がいなかったため、方針を転換し、新規参入者の確保に向けた広報資材の作成を行いました。</p>
4		<p>計画的に対馬しいたけの振興を図っていくこととし、しいたけ原木供給体制を維持しながら植菌数の増を促し、併せて新規参入者の確保に向けた取組を実施することでしいたけ生産量の増に繋げていきます。</p>
	今 後 の 展 開	

全体	28
個別	07-02

令和2年度〔農 林 水 産 部〕目標の成果

課名等	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

区分	項目	対馬猪鹿活用促進事業
1	組織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>対馬猪鹿活用促進事業で、要請があった地区には直接出向き、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状を、地域住民にフィードバックします。</p> <p>被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、居住区域内安全対策、家庭菜園等防護柵と、事業メニューが多く市民の理解度が低いことから、学習会開催時に被害対策についての正確な情報提供に努めます。</p> <p>また、有害鳥獣の資源活用として食肉加工品や皮革製品等に取り組み、食べて美味しい、使って楽しい等、市民が有害鳥獣対策に関わるきっかけをポジティブなイメージにするため、普及啓発活動を実施します。特に学校給食での食材利用や、市内飲食店での活用を促進し、地域食材としての食育と、担い手育成に繋げていきたいです。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区</p> <p>②地区捕獲隊増加数：5地区</p> <p>③「農業被害相談会及び防護柵要望受付」開催：15箇所</p> <p>④有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬のこども達）育成</p> <p>学校給食食材利用校：対馬市内の全ての小中学校</p> <p>総合的学習「有害鳥獣対策」開催：2校</p> <p>⑤各種防護対策の実施</p>
2		<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：2地区 (居住区域内安全対策として防護柵を集落周辺に設置)</p> <p>②地区捕獲隊増加数：5地区</p> <p>③「農業相談会及び防護柵要望受付」開催：6か所</p> <p>※各町1回ずつ実施</p> <p>④学校給食食材利用校：島内全ての小中学校</p> <p>総合的学習「有害鳥獣対策」開催：1校</p> <p>⑤各種防護対策の実施(国交付金、市単独補助事業を活用)</p>
3	評 価	<p>○</p> <p>地区捕獲隊が5地区増加した。イノシシによる居住区域での被害が多く、捕獲隊の増加に繋がりましたが、被害が減っても捕獲を継続できるよう支援していきます。</p> <p>イノシシ・シカの農作物被害については減少傾向にあり、防護柵の整備・有害鳥獣捕獲を継続している成果が出ています。</p> <p>今後も捕獲圧をかけていくことと共に、捕獲したイノシシ・シカは資源として学校給食等に活用し、食育の推進や担い手の確保に努めます。</p>
4		<p>捕獲隊については、引き続き地域が主体となり、農地や居住区域等を守っていただけるように推進を行い、行政主体ではなく、あくまで地域が主役となるように推進を引き続き行います。</p> <p>イノシシ・シカの農作物被害額は減少傾向にあるものの、森林被害や生態系被害が深刻であるため、さらなる捕獲圧をかける必要があると思います。</p> <p>資源活用については、多くの市民を巻き込んだ有害鳥獣対策を促進するためのツールとして、引き続き積極的に取り組み、さらには、対馬の新たな産業、雇用創出に繋がり、地域を護る事がお金になる仕組みを構築する事が望まれます。</p>
	今 後 の 展 開	

全体	29
個別	07-03

令和2年度〔農 林 水 産 部〕目標の成果

課名等	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

区分	項 目	学校給食地場農林水産物導入事業
1	【 内 容 】	学校給食での地場産品利用に係る食材供給について、特産・推奨品であるしいたけ・あか牛・野菜・猪鹿肉とその加工品及び水産物購入への支援を行います。
組織 目 標	【 指 標 】	○地場産品の使用割合の向上に向け、栄養教諭、対馬振興局、市等の関係団体で意見交換を行います。 ○学校給食における地場産品の使用割合（重量比） 22.60%（令和元年度） → 25%（令和2年度）
2	実績 （ 成 果）	○地場産品の使用割合の向上に向け、栄養教諭、対馬振興局、市等の関係団体で意見交換を行いました。（2回） ○学校給食における地場産品の使用割合（重量比） 22.60%（令和元年度） → 22.80%（令和2年度）
3	評 価	△ 米、しいたけ、アスパラガス、じゃがいも、たまねぎ等に関しては目標値を十分に達成しましたが、野菜等の総量としては地場産品のみでは対応できないものもあり、目標値を達成することができませんでした。
4	今 後 の 展 開	地場産品の使用割合を高めるため、農家や農協に協力を求めながら、安定して供給できる体制を検討し、目標達成に向けて取り組みます。 対馬の特長を活かした地場産品について再検討し、令和3年度中に策定する第3次食育・地産地消推進計画に反映します。

全体	30
個別	07-04

令和2年度〔農 林 水 産 部〕目標の成果

課名等	水 産 課
-----	-------

区分	項目	島内での供給システムの構築
1	【 内 容 】 生産者と販売業者の双方が、新鮮で豊かな食材を地元へ提供するため、一体化した島内供給システムを構築することにより、観光消費も含めた島内消費額の拡大を図ります。	
組織目標	【 指 標 】 (1) 生産者（漁協）への聞き取り調査の実施 ⇒4月上旬～7月下旬まで (2) 流通体制構築に係る関係機関での協議・検討の実施 ⇒8月上旬～3月下旬まで	
2	生産者及び漁協への聞き取り調査を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大により、水産業においては魚価の低下や出荷制限による出荷量の減少などの影響が出ており、経営を維持していくため対策に奔走しているところであったため、具体的な調査を実施することができなかった。 また、流通体制の構築に向けた協議についても、同感染症拡大の影響により協議の場を設けることができなかった。そのため、令和2年度については、既存データの整理、聞き取り内容の精査、次年度以降のスケジュールの見直しを行うにとどまりました。	
3	外的な要因により、設定した目標に対する取り組みを実施することはできなかったものの、次年度の取り組みに向け既存データや実施内容の見直しを行うことができました。	
評価	△	
4	今後も動向を注視しながら、流通体制の構築に向けて調査を行い、関係機関との協議及び検討を進めます。	
今後の展開		

全体	31
個別	07-05

令和2年度〔農 林 水 産 部〕目標の成果

課名等	水 産 課
-----	-------

区分	項 目	新規漁業研修生への支援
1	【 内 容 】 漁業者の減少・高齢化、若年層の島外流出などにより、島の基幹産業である水産業は徐々に生産量が減少するとともに、後継者不足が深刻化しています。 漁業後継者を確保することは地域に元気と活力を与えるうえで必要不可欠であり、将来に渡り継続して島が栄えるために最も重要な課題です。 このため地域漁業者、行政、漁協が一体となって新規漁業者の育成・確保に向けた支援を行い、島内外から新たな漁業者の定住を促進することで、水産業の活性化を図ります。	
組織 目 標	【 指 標 】 【達成年度】 令和3年度 漁業研修生の確保 5か年累計30名 【今年度】 新規漁業研修生の確保 8名	
2	今年度は、新規漁業研修生を11名確保し、令和2年度までの4か年累計で38名確保しました。	
実績 (成果)		
3	目標値を達成し、島内外から新規就業者が増加したことで若年層の増加にもつながり、管内漁協の活性化と既組合員にも刺激を与え、相乗効果をもたらしています。	
◎ 評 価		
4	積極的に周知活動を実施し、多くの新規漁業研修生の確保に努め、水産業の活性化を図ります。	
今 後 の 展 開		

全体	32
個別	07-06

令和2年度〔農 林 水 産 部〕目標の成果

課名等	水 産 課
-----	-------

区分	項目	海洋保護区の設定
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申や漁業者、関係団体等からの意見を検討して、区域設定や区域内の資源管理計画を策定し、国や県などに働きかけて対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。</p> <p>【指標】</p> <p>①対馬版海洋保護区の設定に向け、対馬海洋保護区「しまうみ」管理計画等の実行に取り組みます。</p> <p>②藻場の保全、再生の取組の一環として、食害生物の流通等に関する調査研究や藻場環境の情報共有に関する調査研究を行います。</p> <p>③九州大学等外部研究機関との連携を深めます。</p> <p>④対馬の豊かな海の魅力及び重要性について広く市内外にPRします。</p> <p>⑤資源管理活動のデータ化を行います。</p>
2		<p>実績（成果）</p> <p>①基本計画に基づき、実行計画である「水産資源管理計画（磯資源）」において引き続き水揚げデータ等のモニタリングを実施しました。また、対馬沿岸藻場再生計画において藻場の保全・再生等の取り組みを行いました。</p> <p>②主にイスズミ・アイゴ等、食害生物の有効活用に向けての島内流通システムの実証実験を行いました。また、藻場環境の情報共有に関する調査研究として藻場環境の調査や、漁業者参加型の情報共有の手法を検討しました。</p> <p>③九州大学と連携し、藻場環境の情報共有に関する調査研究を行いました。</p> <p>④対馬市国境の島・海の魅力発信隊と協力し、公式SNSを活用し、市内外に積極的にPRを行いました。</p> <p>⑤資源管理活動のデータ化については、基本計画また実行計画においてデータを蓄積し、海洋保護区推進協議会において、評価・改善を行いました。</p>
3	評価	<p>基本計画及び実行計画については、PDCAサイクルにより管理し、評価・改善をすることにより実績に繋がった。</p> <p>また、食害生物の流通等に関する調査研究では流通体制の実証実験を行うことにより島内流通システムの構築ができた。</p>
4		<p>今後の展開</p> <p>対馬版海洋保護区設定に向け、水産資源の適切な管理や藻場の保全再生等、計画的に取り組んでいきます。また、対馬の豊かな海の魅力及び重要性について広く市内外にPRします。</p>

全体	33
個別	07-07

令和2年度〔農 林 水 産 部〕目標の成果

課名等	基 盤 整 備 課
-----	-----------

区分	項目	基盤整備工事の早期発注、早期完成	
1	組織目標	【 内 容 】 農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、農林水産業従事者の所得向上を目指すものです。 その中で事業の早期着工は、市の経済流通の初動を促し、市民生活を活性化させると共に、早期完成は市民の生活基盤の底上げにつながるものであり、本年度においても計画的な発注を行い年内に委託業務完了100%、工事の執行100%に努めます。	
		【 指 標 】 令和2年度 建設工事発注予定額 936百万円 令和2年度 建設工事発注予定件数 委託 5件 工事 22件 12月 委託業務完了予定額 100%目標 (48.5百万円) 12月 委託業務完了予定件数 委託 5件 12月 工事執行予定額 100%目標 (887.5百万円) 12月 工事執行予定件数 工事 22件	
2	実績(成果)	令和2年12月 委託業務完了額 実績額 65.4百万円中、29.3百万円 44.8%	
		令和2年12月 委託業務完了件数 実績件数 11件中、6件 54.5%	
3	評価	令和2年12月 工事執行額 実績額 1,430.2百万円中、1,192.2百万円 83.4%	
		令和2年12月 工事執行件数 実績件数 36件中、28件 77.8%	
4	今後の展開	漁港事業においては、委託業務の調査及び設計協議に日数を要し進捗が遅れました。また、工事については諸手続きの遅延や、同一工種における前年度繰越工事の工期制約を受けたこと、および災害復旧工事については発生が年度後半であったため執行が遅れました。 農林道事業については、ほぼ目標を達成することが出来ました。	
		早期着工については、国の早着認可制度等を利用して行いましたが、新規着手工種の許認可事務及び、測量、調査、設計等の委託業務や地元協議に時間を要した事により、本工事着手が遅れ目標100%達成が出来ませんでした。	
		新規工種の断面決定を行い、計画的に各種事務処理手続きを完了させ、工事の早期完成を目指します。 また、地元要望に迅速に対応するため、関係者と連携を取りながら適切かつ有効な事業計画の立案に努めます。	

全体	34
個別	08-01

令和2年度〔建設部〕目標の成果

課名等	管 理 課
-----	-------

区分	項目	市営住宅使用料未収金の縮小																						
1	【 内 容 】	<p>①滞納者には、退去者にかかわらず書面、訪問等による督促、徴収事務を行い、長期滞納者に対しては書面による確約等を締結し、分納指導を実施します。特に滞納繰越分の徴収率向上に向け努力します。</p> <p>②確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを検討します。</p>																						
	【 指 標 】	<p>市営住宅使用料徴収率（現年分＋滞納分） 90.00%（前年度実績85.40%） （上段：目標、下段：実績）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.00%</td> <td>91.00%</td> <td>90.00%</td> <td>90.00%</td> <td>90.00%</td> <td>90.00%</td> </tr> <tr> <td>85.28%</td> <td>84.01%</td> <td>83.62%</td> <td>84.79%</td> <td>85.79%</td> <td>85.40%</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	R元	R2	91.00%	91.00%	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%	85.28%	84.01%	83.62%	84.79%	85.79%	85.40%				
H27	H28	H29	H30	R元	R2																			
91.00%	91.00%	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%																			
85.28%	84.01%	83.62%	84.79%	85.79%	85.40%																			
2	実績（成果）	<p>市営住宅使用料の徴収率</p> <table border="1"> <tr> <td>現年分</td> <td>95.83%</td> </tr> <tr> <td>滞納分</td> <td>22.72%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>85.40%</td> </tr> </table> <p>市営住宅使用料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現年分</th> <th>滞納分</th> <th>合計（単位：円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調定額</td> <td>140,811,600</td> <td>23,426,180</td> <td>164,237,780</td> </tr> <tr> <td>収入実績</td> <td>134,944,300</td> <td>5,322,490</td> <td>140,266,790</td> </tr> <tr> <td>徴収率</td> <td>95.83%</td> <td>22.72%</td> <td>85.40%</td> </tr> </tbody> </table>	現年分	95.83%	滞納分	22.72%	計	85.40%		現年分	滞納分	合計（単位：円）	調定額	140,811,600	23,426,180	164,237,780	収入実績	134,944,300	5,322,490	140,266,790	徴収率	95.83%	22.72%	85.40%
現年分	95.83%																							
滞納分	22.72%																							
計	85.40%																							
	現年分	滞納分	合計（単位：円）																					
調定額	140,811,600	23,426,180	164,237,780																					
収入実績	134,944,300	5,322,490	140,266,790																					
徴収率	95.83%	22.72%	85.40%																					
3	評価	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者に対し、書面による督促事務を行い、納付依頼を実施いたしました。また、個別訪問による徴収も実施しております。 ・督促文書送付で未払い者（退去者含む）に対し、訪問、書面による納付確約又は連帯保証人へ納付指導を行いました。 ・生活困窮者に対しては、関係部署等連携して各対象世帯の事情を調査し、収入を上げられる方策を考え、実行し徴収率を上げました。 ・最終的に徴収率は前年度より上がりましたが、目標値には達成しませんでした。 																						
4	今後の展開	<p>滞納者には年間を通しての書面督促・電話・臨戸訪問による納付指導を行い、確約書提出者には、債務不履行がないように指導します。</p>																						

全体	35
個別	08-02

令和2年度〔建設部〕目標の成果

課名等	建設課
-----	-----

区分	項目	公共工事の早期発注、早期完成																					
1	【内容】	公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。																					
組織目標	【指標】	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1 2月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計）</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">6件 2 8百万円</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">《100%目標》</td> </tr> <tr> <td>1 2月末設計書作成件数及び予定額（工事）</td> <td style="text-align: center;">1 4件 6 3 6百万円</td> <td style="text-align: right;">《100%目標》</td> </tr> </table>	1 2月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計）	6件 2 8百万円	《100%目標》	1 2月末設計書作成件数及び予定額（工事）	1 4件 6 3 6百万円	《100%目標》															
1 2月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計）	6件 2 8百万円	《100%目標》																					
1 2月末設計書作成件数及び予定額（工事）	1 4件 6 3 6百万円	《100%目標》																					
2	実績（成果）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3">（測量・調査・設計）</td> </tr> <tr> <td style="width: 60%;">令和2年1 2月末設計書作成件数</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">1 1件</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>令和2年1 2月末発注額</td> <td style="text-align: center;">3 2百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">（工事）</td> </tr> <tr> <td>令和2年1 2月末設計書作成件数</td> <td style="text-align: center;">1 8件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年1 2月末発注額</td> <td style="text-align: center;">4 6 9百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">※災害発生件数 道路 2件 河川 7件 査定額 1 1 3百万円</td> </tr> </table>	（測量・調査・設計）			令和2年1 2月末設計書作成件数	1 1件		令和2年1 2月末発注額	3 2百万円		（工事）			令和2年1 2月末設計書作成件数	1 8件		令和2年1 2月末発注額	4 6 9百万円		※災害発生件数 道路 2件 河川 7件 査定額 1 1 3百万円		
（測量・調査・設計）																							
令和2年1 2月末設計書作成件数	1 1件																						
令和2年1 2月末発注額	3 2百万円																						
（工事）																							
令和2年1 2月末設計書作成件数	1 8件																						
令和2年1 2月末発注額	4 6 9百万円																						
※災害発生件数 道路 2件 河川 7件 査定額 1 1 3百万円																							
3	評価	<p>◎</p> <p>組織目標に掲げた設計書作成件数につきましては、委託及び工事ともに目標に達しているものの、交付金の減額により発注額ベースでは減額となりましたが、災害復旧工事の発注により減額分を補う形となりました。</p> <p>参考として、令和2年度の総発注件数(委託及び工事)1 0 1件中依頼関係が6 9件あり、そのうち5 7件を1 2月末までに発注しております。</p>																					
4	今後の展開	公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図るものことから、今後におきましても早期発注、早期完成に努めます。																					

全体	36
個別	09-01

令和2年度〔水道局（部）〕目標の成果

課名等	水道課
-----	-----

区分	項目	水道料金の収納率向上																	
1	<p>【内容】</p> <p>経営の効率化と健全な事業運営を図るためには、水道料金の収納率向上は喫緊の課題であり、今年度も前年度に引き続き、新規滞納者の発生予防、納付確約（分納）の取り組み強化、給水停止の強化に取り組みます。</p> <p>①新規滞納者の減少 ②納付確約（分納）者の取り組み強化 ③給水停止措置の強化</p> <p>【指標】</p> <p>収納率（現年度分）97.00%を目標に取り組みます。 （令和元年度実績 96.73%）</p>																		
2	<p>収納率</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">令和2年度</th> <th style="width: 20%;">令和元年度</th> <th style="width: 20%;">対前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">現年度分</td> <td style="text-align: center;">97.45%</td> <td style="text-align: center;">96.73%</td> <td style="text-align: center;">0.72%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">過年度分</td> <td style="text-align: center;">53.25%</td> <td style="text-align: center;">60.07%</td> <td style="text-align: center;">▲6.82%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">計</td> <td style="text-align: center;">95.23%</td> <td style="text-align: center;">94.99%</td> <td style="text-align: center;">0.24%</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和元年度	対前年度	現年度分	97.45%	96.73%	0.72%	過年度分	53.25%	60.07%	▲6.82%	計	95.23%	94.99%	0.24%		
	令和2年度	令和元年度	対前年度																
現年度分	97.45%	96.73%	0.72%																
過年度分	53.25%	60.07%	▲6.82%																
計	95.23%	94.99%	0.24%																
3	<p>○</p> <p>現年度分については、督促状及び催告、給水停止等の措置を講じることで目標を0.72%上回り、全体の収納率も前年度を0.24%上回る結果となりました。 しかしながら、過年度分の収納率は前年度と比較し減少する結果となりました。</p>																		
4	<p>今後の展開</p> <p>収納率の向上に向けて、滞納者に対しての督促、催告等の納付指導を継続して行い、また、長期（3か月以上）の滞納者に対しては、給水停止の措置を強化し、納付意識の高揚を図り、水道料金の収納率向上に努めます。</p>																		

全体	37
個別	09-02

令和2年度〔水道局（部）〕目標の成果

課名等	水道課
-----	-----

区分	項目	水道事業の有収率向上		
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>水道事業を経営して行く中で、有収率（浄水場で作られた水量と実際に家庭等の蛇口から出て使われた水量の割合）対策は、重要な課題となっております。</p> <p>市の水道事業の有収率は、近年、70%前後で推移しており、令和元年度は、72.83%と前年度に比べ改善を図ることができましたが、漏水などによりまだまだ浄水場で作られた水の3割程が有効に利用できていない状況です。</p> <p>水道事業の経営安定化のためには、有収率の向上が必要不可欠な課題となっているため、今後も年次的に配水管等の漏水対策を行い、引き続き有収率の向上に努めます。</p> <p>【指標】</p> <p>令和2年度有収率を、73.10%以上にします。 （令和元年度有収率：72.83%）</p>		
2		有収率		
実績（成果）		令和2年度	令和元年度	対前年度
		72.22%	72.83%	▲0.61%
3	評価	<p>配水管等の漏水調査の実施及び漏水箇所の早期修繕対応などを行いました。令和2年12月及び令和3年1月の寒波による水道管の破裂が多発した影響などにより、前年度を0.61%下回り、0.88%目標値を下回ることになりました。</p> <p>引き続き、老朽管の布設替えや漏水調査・修理等の対応を行い、有収率の向上に努めます。</p>		
		△		
4	今後の展開	<p>今後も、年次的に配水管等の漏水調査・修理等の対策を実施し、更なる有収率の向上を目指します。</p>		

全体	38
個別	10-01

令和2年度〔中対馬振興部〕目標の成果

課名等	地域振興課
-----	-------

区分	項目	中対馬未来づくりアクションプランの推進
1	【内容】	平成30年3月に策定した中対馬未来づくりアクションプランにより、地域資源や観光・産業の実態から浮かび上がる課題を踏まえたうえで、新たな価値創造のために重要なターゲットと考えられる「世界のすべての女子」に着目し、リトリート（癒やし）とアクティビティ（体験）の創出による観光客をきっかけとした活性化・地域振興を目指します。 また、今年度は昨年度養成したシーカヤック・SUPのインストラクターによる体験事業の受け入れ態勢構築に積極的に取り組んでまいります。
組織目標	【指標】	<p>[達成年度] アクションプランにおいて中期期間の期末となる令和9年度を当面の達成年度とします。</p> <p>[今年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場整備事業：二人用コテージ3棟の建設 ・シーカヤック、SUPインストラクター養成事業：令和3年度の105人の体験者数を目指し、本年度中は受け入れ態勢の協議等、仕組みづくりに取り組みます。今年度の体験者数はコロナの影響を考慮し現状維持の25組を目指します。 ・ご当地スイーツ開発：令和3年度に2品の新商品完成を目指し、試作品の完成を目指します。 ・青海の花畑スポット整備：今年度中にPCフェンス240mの設置を行うとともにそば等の作付けに取り組んでまいります。
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場整備事業：二人用コテージ3棟の建設については、園地事業の変更手続きに時間を要したため、次年度建設に変更しました。 ・シーカヤック・SUPインストラクター養成事業：コロナウイルス感染症の影響で夏場の受け入れが出来なかったことにより、会の発足（設立総会）までは行ったものの事業の実施は断念しました。 ・ご当地スイーツ開発：コロナウイルスの感染防止対策のため断念しました。 ・青海の花畑スポット整備：そばの作付けを約7,400㎡で実施しましたが、PCフェンスの設置について、国の交付金事業におけるハード・ソフト事業費の調整により中止しました。
3	評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p>ソフト事業は、全体的にコロナウイルス感染症の影響を受けほぼ実施することが出来ませんでした。そばは作付けを実施しましたが、開花前に台風の影響を受け、ほぼ壊滅状態となってしまいました。なお、キャンプ場整備事業については、園地事業の変更と野営事業の承認に時間を要したため、次年度の実施に計画変更を行いました。</p> <p>シーカヤック及びSUPについては、コロナウイルスで断念したものの、インストラクターの会の設立総会までは行っており、事業着手の準備は整えることができました。</p>
4	今後の展開	実施できなかった、キャンプ場整備事業（コテージ整備）を令和3年度に完了し、併せて福岡市内の交通広告等を活用したPR事業並びに観光冊子等の作成に取り組み、中対馬地域のPR強化に取り組みます。

全体	39
個別	11-01

令和2年度〔上対馬振興部〕目標の成果

課名等	地域振興課
-----	-------

区分	項目	対馬の自然を活かした観光地の整備
1	【内容】 ○三宇田キャンプ場改修 日本の渚百選である三宇田浜のロケーションを活かし、施設利用者のニーズに対応したキャンプ施設に改修します。	
組織目標	【指標】 全体計画：平成30年度～令和4年度 ・デイキャンプ施設の整備	
2	令和2年12月からデイキャンプ場のリニューアルに着工しましたが、資材確保の面で工期延長が必要となり、令和3年度への繰越事業となりました。	
実績（成果）	【着手からの経過】	
	平成30年度	基本・実施設計の策定準備
	令和元年度	基本・実施設計を策定、管理棟の新設（着工、完成）
	令和2年度	デイキャンプ場のリニューアル（着工）
3	○	デイキャンプ場のリニューアル工事については、資材確保の面で繰越事業として工期延長していますが、全体計画としては概ね順調に進捗しています。
評価		
4		引き続き、基本・実施設計に基づいて事業を実施します。
今後の展開		

全体	40
個別	11-02

令和2年度〔上対馬振興部〕目標の成果

課名等	北部建設事務所
-----	---------

区分	項目	公共工事の早期発注、早期完成
組織 目標	【内容】	地域経済の活性化と島内交通の利便性向上を図るために、公共工事の早期発注及び早期完成に取り組みます。
	【指標】	令和2年12月末発注件数及び予定額 委託：9件 177百万円 (100%目標) 工事：11件 1,024百万円 (100%目標)
2	実績 (成果)	令和2年12月末発注件数及び発注額 委託：8件 124百万円 (達成率89%) 工事：9件 933百万円 (達成率82%) 年度内完成件数 委託 10件、工事 5件 繰越件数 委託 1件、工事 6件
3		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">△</div> <div> <p>組織目標に掲げた公共工事の早期発注については、突発的な災害や他の部署からの依頼事業が多く、目標の100%を達成することが出来ませんでした。</p> <p>また、早期完成についても計画見直しや地元調整等に時間を要し、結果的に委託1件、工事6件が繰り越しとなり、目標を達成できませんでした。</p> </div> </div>
4	今後の展開	公共工事の早期発注及び早期完成に取り組み、事業の早期効果と市民生活の利便性向上に努めます。

全体	41
個別	11-03

令和2年度〔上対馬振興部〕目標の成果

課名等	上県行政サービスセンター
-----	--------------

区分	項目	対馬の希少動物の保存と活用による観光振興
1	【内容】 日本固有の在来馬として希少価値の高い対州馬を「対馬市対州馬保存計画」に基づき繁殖・保存し、また、対州馬の魅力とあそうベイパークの持つポテンシャルを生かした活用等を重点的に推進するため令和2年度から令和6年度までの5か年計画を策定します。また、計画推進のための必要な準備を進めます。	
組織目標	【指標】 今年度中に「対州馬の繁殖とあそうベイパークにおける対州馬の活用等計画（仮称）」の策定及び計画推進のための必要な準備	
2	「対州馬の繁殖とあそうベイパークにおける対州馬活用推進計画」を策定し、対州馬繁殖及び活用に関し実施すべき5年計画について、明確にしました。	
実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬市対州馬保存育成及び活用等検討委員会の開催：2回 ・あそうベイパークでの乗馬体験イベント実施：3回（10月、11月、3月） 	
3	「対州馬の繁殖とあそうベイパークにおける対州馬活用推進計画」を策定したことで、対州馬の繁殖、対州馬を活用するための人材確保及び人材育成、対州馬の魅力の共有及び発信並びに計画推進のために必要な施設等の整備に関し、具体的に推進すべき事項が明確になりました。また、計画推進のための必要な準備として、推進事項に関し年度毎の推進工程の作成及び令和3年度下半期からあそうベイパークでの乗馬体験実施に向け、同パーク内で乗馬体験イベントを3回実施しました。	
評価	○	
4	「対州馬の繁殖とあそうベイパークにおける対州馬活用推進計画」及び年度毎の推進工程に基づき、対州馬の繁殖、対州馬を活用するための人材確保と人材育成、対州馬の魅力の共有及び発信並びに計画推進のために必要な施設等の整備を進めていきます。また、対馬市対州馬保存育成及び活用等検討委員会において、進捗状況を検証して頂きます。	
今後の展開		

全体	42
個別	12-01

令和2年度〔消防本部〕目標の成果

課名等	総務課
-----	-----

区分	項目	地区消防団員の増員、車両の適正配置及び資機材の充実配備
1	【内容】	地区消防団員の増員（機能別消防団員を含む）、消防団員車両の適正配備及び消防団の安全装備品等の配備
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員の増員・・・令和2年度末 1,550人 定員 1,600人 (令和2年4月1日現在1,498人) ・ 消防団車両の適正配備・・・令和2年度末 小型動力ポンプ付積載車（普通積載1台） ・ 消防団資機材・・・・・・令和2年度末 防火衣20着、発電機3基
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員の増員・・・1,496人（昨年度末より2人減） ・ 消防団車両の適正配備・・・小型動力ポンプ付積載車（普通1台）納車 消防ポンプ自動車（3.5t未満）1台 納車 ・ 消防団資機材・・・防火衣20着、発電機3基
3	評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p>消防団員は増員できず、昨年より2人の減員となりました。 また、消防団員の安全装備品配備については計画通りの配備となり、車両については当初の計画に加え、総務省無償貸与車両が割り当てられ、消防ポンプ自動車を追加で配備することができました。</p>
4	今後の展開	消防団員の確保及び年次計画に基づいて車両等適正配備を進めます。

全体	43
個別	12-02

令和2年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課名等	警 防 課
-----	-------

区分	項 目	新型コロナウイルス等対策																																																																																
1	【 内 容 】																																																																																	
組織目標	<p>対馬市消防本部新型コロナウイルス等対策のための業務継続計画（令和2年3月）第8の規定に基づき、資器材確保について各資器材の備蓄数量を定めていますが、どれも規定数量に達していない状況です。新たなウイルス等が発生した場合に、早急に対応できるよう資器材の備蓄整備を行います。</p> <p>※ 設定時に指標欄で示した表は、実績（成果）欄に掲載。</p>																																																																																	
2		<p>救急出場年間約1800件×救急隊員3人＝延べ5400人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">感染防護具</th> <th colspan="4">消毒</th> </tr> <tr> <th></th> <th>昨年度</th> <th>現備蓄数</th> <th>目標数</th> <th></th> <th>昨年度</th> <th>現備蓄数</th> <th>目標数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・感染防止衣</td> <td>1650</td> <td>2392</td> <td>5400</td> <td>・手指消毒アルコール製剤</td> <td>0</td> <td>178</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>・手袋</td> <td>1500</td> <td>36200</td> <td>5400</td> <td>・車内及び資器材等消毒剤</td> <td>0</td> <td>155</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>・N95マスク</td> <td>1680</td> <td>2863</td> <td>5400</td> <td>・清拭用資材（不織布ガーゼ）</td> <td>0</td> <td>95</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>・ゴーグル</td> <td>301</td> <td>212</td> <td>1800</td> <td>その他</td> <td>昨年度</td> <td>現備蓄数</td> <td>目標数</td> </tr> <tr> <td>拡散防止</td> <td>昨年度</td> <td>現備蓄数</td> <td>目標数</td> <td>・感染性廃棄物処理容器</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>・シューズカバー</td> <td>650</td> <td>2322</td> <td>5400</td> <td>入室管理用</td> <td>昨年度</td> <td>現備蓄数</td> <td>目標数</td> </tr> <tr> <td>・サージカルマスク</td> <td>2000</td> <td>24350</td> <td>5400</td> <td>・体温計</td> <td>8</td> <td>37</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>・アイソレーター</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>・脱脂綿300入</td> <td>0</td> <td>58</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">目標達成</p>	感染防護具				消毒					昨年度	現備蓄数	目標数		昨年度	現備蓄数	目標数	・感染防止衣	1650	2392	5400	・手指消毒アルコール製剤	0	178	28	・手袋	1500	36200	5400	・車内及び資器材等消毒剤	0	155	14	・N95マスク	1680	2863	5400	・清拭用資材（不織布ガーゼ）	0	95	15	・ゴーグル	301	212	1800	その他	昨年度	現備蓄数	目標数	拡散防止	昨年度	現備蓄数	目標数	・感染性廃棄物処理容器	15	8	15	・シューズカバー	650	2322	5400	入室管理用	昨年度	現備蓄数	目標数	・サージカルマスク	2000	24350	5400	・体温計	8	37	8	・アイソレーター	0	3	8	・脱脂綿300入	0	58	8
感染防護具				消毒																																																																														
	昨年度	現備蓄数	目標数		昨年度	現備蓄数	目標数																																																																											
・感染防止衣	1650	2392	5400	・手指消毒アルコール製剤	0	178	28																																																																											
・手袋	1500	36200	5400	・車内及び資器材等消毒剤	0	155	14																																																																											
・N95マスク	1680	2863	5400	・清拭用資材（不織布ガーゼ）	0	95	15																																																																											
・ゴーグル	301	212	1800	その他	昨年度	現備蓄数	目標数																																																																											
拡散防止	昨年度	現備蓄数	目標数	・感染性廃棄物処理容器	15	8	15																																																																											
・シューズカバー	650	2322	5400	入室管理用	昨年度	現備蓄数	目標数																																																																											
・サージカルマスク	2000	24350	5400	・体温計	8	37	8																																																																											
・アイソレーター	0	3	8	・脱脂綿300入	0	58	8																																																																											
3	△	<p>令和2年度（補正）地方創生臨時交付金の交付により、一部の物品については目標数量に至ったが、ほとんどの物品が目標数量に達することができなかった。指標に掲げてはいないが、全ての救急車内にオゾン発生器の導入、救急資器材消毒用オゾン発生器の導入、また患者搬送用アイソレーターを導入できた事は、隊員を感染防護する事から考えると成果は格段と上がったと考える。</p>																																																																																
4	今後の展開	<p>対馬市消防本部新型コロナウイルス等対策のための業務継続計画（令和2年3月）第8の規定に基づき、資器材確保については各資器材の備蓄数量を定めており、消毒剤、入室管理用資器材、一部の感染防護具については目標数を達成できたが、その他の資器材については、数量に達していない。また、新たな変異株も発生している状況にあり、あらゆる状況下でもすぐさま対応できるよう資器材の備蓄整備を継続し、隊員の健康管理及び職務遂行に努める。</p>																																																																																

全体	44
個別	12-03

令和2年度〔消防本部〕目標の成果

課名等	予防課
-----	-----

区分	項目	違反公表制度開始に伴う消防用設備等設置指導
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>① 重大違反対象物に対し、早期の立ち入り検査を実施します。</p> <p>② 重大違反対象物に対し、公表後の違反処理への移行等を十分説明し、消防用設備等を早期設置の指導を行います。</p> <p>【指標】</p> <p>① 重大違反対象物は現在2施設3棟存在するため、立入検査、電話において指導を実施し重大違反対象物ゼロを目指します。</p>
2		2施設3棟存在する重大違反対象物は、1施設も解消できませんでした。
3	評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p>立入検査、電話指導により重大違反対象物への指導を実施しましたが、是正に至らず現在も2施設3棟の重大違反対象物が存在しています。 しかしながら、1施設2棟は改修計画の提出、消防設備業者への見積依頼を実施しているため、是正へ向け進んでいます。</p>
4		
	今後の展開	

全体	45
個別	13-01

令和2年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	教育総務課
-----	-------

区分	項目	島っこ留学制度による留学生の招致推進
1	【内容】 「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成27年11月からスタートした制度です。 複式学級の解消等も考慮し、西小校区、仁田小校区及び新たな校区での受入を推進するとともに、体験留学、広報事業の充実と里親の追加募集を行います。	
組織目標	【指標】 ○留学生招致 3名以上（小学生若しくは中学生） →体験留学（5組10名程度）を実施します。 →ホームページ・SNSに重点をおいた情報発信や広報事業を実施します。 →福岡での事業説明会を実施します。 →里親を追加募集し、受入体制の整備を行います。	
2	・西小校区1名、仁田小校区3名（うち新規1名）の里親による受入体制ができました。 ・令和2年度は10名（うち継続4名、新規6名）の留学生が就学しています。	
実績（成果）	(内訳) 西部中学校 3名（2年男子2名、3年男子1名） 仁田小学校 2名（4年男子1名、5年男子1名） 仁田中学校 5名（2年男子2名、2年女子3名） 合計10名	
3	・当初2年間は受入実績がありませんでしたが、平成29年度4名、30年度7名、令和元年度6名、2年度6名の留学生を受け入れてきました。 ・体験留学は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止しました。 ・福岡事業説明会は、2家族の参加がありました。 ・事前視察は、7家族（留学希望者8名）を受け入れ、うち6名を留学生に決定しました。 ・広報・啓発事業は、専門業者と委託契約し、ホームページの運営・更新、活動写真撮影、SNS等による情報発信、チラシ作成を実施しました。	
評価	◎	
4	里親の確保が非常に困難な状況であり、受入体制の充実を図ることが急務であるため、里親の募集を行います。 SNS等インターネットを利用した広報活動や情報発信に重点をおいて展開する必要があります。 体験留学は、留学の可能性が高い希望者を選出し効果を高める必要があります。	
今後の展開		

全体	46
個別	13-02

令和2年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	学 校 教 育 課
-----	-----------

区分	項 目	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成
1	【 内 容 】 【対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進】 1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 3. 生徒指導及び特別支援教育の充実 4. 校種間連携、地域との連携の推進 5. 幼稚園・こども園教育の充実 【 指 標 】 1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 (1) 学校訪問時及び各種研修会における指導助言 (2) ICTを活用した授業支援、研修会の実施 2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 (1) ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成 (3) フッ化物洗口推進事業 3. 生徒指導及び特別支援教育の充実 (1) S S W及びS Cとの連携と効果的活用 (2) 教育支援委員会の充実 4. 校種間連携、地域との連携の推進 (1) 中学校と高等学校の連携強化 (2) コミュニティ・スクールの運用 5. 幼稚園・こども園教育の充実 (1) 特色ある園づくり	組 織 目 標
2	1－(1) 指導法改善研修会を小学校・中学校で各1回、研究指定校11校の支援を行いました。 1－(2) 新任校長校等を含む8校を訪問し、授業参観と指導助言を実施しました。 2－(1) 全ての学校において、ふるさと学習全体計画を作成しました。 2－(2) 中学校全校が実施し、小中学校全校での実施となりました。 3－(1) S S Wと3回、分教室の担当者と7回以上の情報交換会を行いました。 3－(2) 教育支援センターを開設し、不登校児童生徒への支援を行いました。 3－(3) 特別支援教育関係職員への研修の充実を図りました。 4－(1) 対馬市中高連携協議会の効果的な運用を図るとともに、市内3高校部会に参加しました。また、対馬市上地区連携型中高一貫教育に係る推進協議会を開催しました。合同職員会議は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。 5－(1) 園長会を4回、研修会を5回実施しました。また、巖原幼稚園、鶏鳴幼稚園の研究園援助を実施しました。	
3	各種研修会については新型コロナウイルス感染症対策のため、中止や延期とせざるをえないものもありました。学校訪問、研究指定校事業などは、計画通りに実施し、教職員への指導や助言を通して、目標の実現に努めることができました。 (1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や複式指導法研修会等の各種研修会を実施して教職員の指導力向上に努めることができました。 (2) 学校訪問等の際に、道徳の授業参観や授業づくりの指導を行い、道徳教育の充実につなげることができました。	○ 評 価
4	(1) ふるさと学習の一層の充実に資するため、各学校の全体計画の工夫や、校種間連携を意図した学習内容の整理を指導します。 (2) タブレット端末を中心としたICT機器の効果的かつ積極的な活用を促す研修の充実に努めるとともに、校務支援システムの効果的な活用を通して、教職員の働き方改革を推進します。	

全体	47
個別	13-03

令和2年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	生涯学習課
-----	-------

区分	項目	地域の特徴を活かした生涯学習の推進
1	【内容】	長崎県下の公民館関係者、社会教育関係者が一堂に会し、研究討議等を行い、新しい時代の要請に応える公民館の役割を明らかにするため、毎年県内各地を会場として、長崎県公民館大会が開催されています。 令和3年度に、長崎県公民館大会が対馬市を会場として開催されるため、大会内容の充実を図るとともに、より充実した研究討議や意見交換等が行えるよう円滑な大会運営を目指します。
組織目標	【指標】	◎円滑な大会運営を行うため、以下の事項に取り組みます。 ・現地実行委員会を立ち上げ、運営体制を整えます。 ・関係団体との日程調整を行い、より多くの参加者が獲得できる大会日程を決定します。 ・参加予定数の調査及び宿泊施設や大会関係施設の確保を行い、参加者の受入体制を整えます。
2	【達成年度】	令和3年度
実績（成果）	【今年度】	◎円滑な大会運営を行うため、下記の事項に取り組みました。 ・事務局体制の構築：長崎県公民館大会現地事務局長（生涯学習課長） ・大会日程の決定：令和3年10月14日（木）～15日（金） ・参加予定人数の決定：450人 ・大会関係施設の確保：対馬市交流センター、美津島文化会館、対馬市商工会
3	○	令和3年度長崎県公民館大会対馬市大会の開催に係る基本的事項を決定しました。
評価		
4	今後の展開	大会テーマ、分科会の構成等の詳細な事項を決定し、円滑な大会運営を目指します。

全体	48
個別	13-04

令和2年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名等	文化財課
-----	------

区分	項目	文化財の保存・活用
1	【内容】 対馬市内に残る各種の貴重な文化財を未来に保存・継承していくために、各専門 門家からなる委員会を開催し、今後の保存計画策定を目指します。 また、無形民俗文化財保護のための人づくり、ルールづくりに力をいれます。	
組織 目標	【指標】 ① 対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会を4回開催。 ② 越高遺跡調査検討委員会を2回開催。 ③ 対馬藩お船江跡総合保全検討委員会を2回開催。 ④ 年内の盆踊り保存会の結成を目指す。	
2	ほぼ予定通りの内容で委員会を終了し、次年度の概要を確認しました。	
実績 (成果)	① 対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会を5回開催しました。 (書面1回、リモート3回、対面1回) ② 越高遺跡調査検討委員会を3回開催しました。(リモート1回、対面2回) ③ 対馬藩お船江跡総合保全検討委員会を対面で1回開催しました。 ④ 対馬盆踊り保存連合会を結成し、総会・臨時総会を開催しました。	
3	◎	①～③はコロナ禍の中においても予定どおり事業を遂行することができ、金石城跡及び旧金石城庭園保存活用計画も策定しました。 また、越高遺跡が県の史跡として指定されました。 ④は8月に対馬盆踊り保存連合会を結成し、3月には重要無形民俗文化財に指定されました。
4	今後の展開	令和3年度も引き続き事業を継続し、委員会を複数回開催して保存活用計画や保存整備計画の策定を目指します。 また、無形の民俗文化財はコロナ等の社会情勢を見極めながら、その保存と継承に取り組んでいきます。